

シラバス

教科名	情報	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (2) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。
学年の目標	コンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。また、身近な事象を情報と結びつけて捉え、問題を解決するために情報と情報技術を効果的に活用するとともに情報社会に参画しようとする態度を養う。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5	5	「コミュニケーションと情報デザイン」 プレゼンテーション	【知識・技能】 ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度を養う。	プレゼンテーションソフトを用いて、見学旅行についてまとめ、発表する。 【高等部 2 学年】 ①見学旅行での振り返り ②見学旅行での思い出をプリントにまとめる ③見学旅行で学んだことをまとめる ④プレゼンテーションソフトを用いて「自分の思い出」を作成する ⑤プレゼンテーションソフトを用いて発表する 【総合：見学旅行】 【社会：東京】	【知識・技能】 1 段階：アニメーションや画像の挿入の方法を知る。 2 段階：様々なアニメーションや画像の挿入の仕方を与える印象が変わることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：目的に合わせてプレゼンテーションソフトのデザインを決めることができる。 2 段階：目的や相手に与える印象を意識してアニメーションや画像の挿入方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：見やすいように文字の大きさ等を調整することができる。 2 段階：目的に応じてわかりやすいように画像やアニメーションを使用することができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
			【知識・技能】 ・身近にある情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し、表現する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報デザインの重要性、一連の過程を繰り返し替えることの重要性などを理解し、情報デザインの考え方や方法を生活に活かす態度を養う。	学校紹介動画を作成してみよう【高等部 2 段階】 ①学校と地域の良いところを整理する ②写真等を用いて学校の行事について振り返る ③動画編集の基本的な方法について ④各カテゴリーでグループに分かれて動画のイメージをプリントに書き起こして整理する ④音楽や写真、動画等の素材を集める ⑤動画を編集する ⑥発表する 【総合：地域貢献】 【職業：余暇活動】	【知識・技能】 1 段階：動画アプリの動画の撮り方を知ることができる。 2 段階：動画アプリを用いた動画の編集方法を知ることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：動画のカット割を考え、計画通りに撮影することができる。 2 段階：目的に応じて動画の表現方法を変えて、目的に応じた編集をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：動画を希望の表現にするまで繰り返し修正することができる。 2 段階：動画を通じて自然や造形物の良さを意識しながら撮影することができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
			【知識・技能】 ・情報機器の基本的な操作を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 ・目的や状況に応じて、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題の解決方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近にある情報や情報技術を活用し、望ましい情報社会のあり方について考える態度を養う。	iPad の基本的な操作方法【高等部 2 段階】 ①基本操作と使用上の注意について ②アプリのインストールの方法と使用方法について ③アプリ・インストールについての注意事項について ④検索エンジンの使用について ⑤検索エンジンとアプリを使用して調べ学習。 ⑥調べたものを発表する。 ・Google アカウントや Gmail、カレンダー機能について 【総合：探究活動】 【国語：文章読解】 【職業：余暇活動】	【知識・技能】 1 段階：iPad やパソコンなどの情報機器の基本的操作の方法を知り、様々な情報を取得する方法を知ることができる。 2 段階：iPad やパソコンなどの情報機器を活用し、問題を解決する方法を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：目的や状況に応じて検索エンジンなどを使い必要な情報を調べることができる。 2 段階：検索エンジンなどを活用し問題を解決する方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：身近にある自分に必要な情報を選択することができる。 2 段階：身近にある情報や情報技術を使い、様々な課題を解決しようと努力することができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度

10 11	4	「情報社会の問題 解決」 情報モラル	【知識・技能】 ・身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方を考えることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会に参画する態度を養う。	SNS のトラブルについての対処方を学習する 【高等部 2 段階】 ①SNS に関する時事問題について ②SNS に関わる法規について ③トラブルがあったときの対処方について ④トラブルにならないような注意事項について ⑤今後の情報技術の発展と課題について 【社会：時事問題】 【家庭科：消費社会】	【知識・技能】 1 段階：SNS などの扱い方について知ることができる。 2 段階：SNS などが社会に及ぼす影響について理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：身近にある情報や情報技術が日常でどのように使われているかを考え調べることができる。 2 段階：身近にある情報や情報技術が情報社会でどのような役割を果たしているかを考え、伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：情報や情報技術を目的に合わせて選択するように意識することができる。 2 段階：理想としている情報社会に必要なことは何かを考えて、自分の意見をまとめることができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
			【知識・技能】 ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度を養う。	ワープロソフトを用いて社会に対する犯罪抑止ポスターを作成する 【高等部 2 学年】 ①犯罪について検索エンジンを用いて調べる ②調べた内容をワープロソフトでまとめる ③調べた犯罪について犯罪防止ポスターを作成するためのレイアウトの基本について学習する ④実際にポスターを作成する ⑤ポスターとワープロソフトでまとめた内容を用いて発表する 【美術：表現】 【国語：文章読解】	【知識・技能】 1 段階：身近にあるデザインや名称が示している意味を知ることができる。 2 段階：人や社会が求める理想を情報デザインが視覚化していることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：伝えたい情報を言葉で整理し、それを絵や画像、短い文章で表現することができる。 2 段階：伝えたい情報を目的に沿って精査し、効果的な情報デザインを考案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：相手に伝わりやすいような表現方法を考えることができる。 2 段階：自己や集団としての課題について考え、情報や情報技術を用いて改善しようと意識することができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
			【知識・技能】 ・身近なデータを活用した方法、情報ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 データを多面的に精査し、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に参画しようとする態度を養う。	現代から未来への情報機器の発展について 【高等部 2 段階】 ①現代の情報機器について ②現代が情報機器に求める役割について ③未来の日本 (Society5.0) について ④未来に向かってどう変化していつているのか ⑤社会に求められる人間像とは ⑥プログラミングの基礎 【社会：産業】 【家庭科：衣食住】	【知識・技能】 1 段階：様々な情報機器がデータを活用して人にサービスを提供していることを知ることができる。 2 段階：身近な情報機器に搭載させている Ai について理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：身近にある情報機器が日常生活でどのように使われているかを考えることができる。 2 段階：日常生活で使われている情報機器を使い、効果的に活用する新しいサービスを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：1 つのデータに対して様々な視点で考えることができる。 2 段階：1 つの情報に対して様々なリスクを考え、情報セキュリティを意識することができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度
			【知識・技能】 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性などについて、それらの背景を捉え、考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する態度、情報モラルに配慮して情報社会に参画する態度を養う。	情報セキュリティや情報社会の法規について 【高等部 2 段階】 ①情報社会に関する法規やルールについて ②情報社会でのトラブルや犯罪行為について ③情報社会でのトラブルに対する対処方について ④自分の身を守るための情報セキュリティ ⑤相手を守るためのネットマナー ⑥身近にある情報を整理し、身を守る方法を検討する 【社会：マナー、法規】 【道徳：社会参画、公共の精神】	【知識・技能】 1 段階：情報に関する法律や制度、マナーを知ることができる。 2 段階：情報に関する法律や制度、マナーを基に情報セキュリティの重要性を理解することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：情報に関する法規や制度ができた背景を考えることができる。 2 段階：情報社会の犯罪行為やトラブルの背景を基に、情報セキュリティができた経緯を予想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：情報モラルを守るために必要なことについて考えることができる。 2 段階：情報を適切に扱う方法を知り、社会における自分の役割や責任などについて考えることができる。 評価方法：レポート、授業参加状況、授業の姿勢・態度

